

ごみゼロフォーラム

～ごみゼロ社会をめざす「もったいない」を活かした地域づくり～

本年度は「ごみゼロ社会実現プラン」策定から5年が経過することから、その節目としてプランの改定に取り組んでいます。その一環として、プラン改定に様々なご意見をいただくパネルディスカッションやごみゼロについて取り組んでいただくような様々なヒントにあふれた環境講談などを内容とする「ごみゼロフォーラム」を開催しました。

・日 時：平成23年1月29日（土）13：30～16：00

・場 所：三重県庁講堂（津市）

・参加者：230名

・内 容

環境講談「もったいない善兵衛」

講談師 神田 紫氏

ごみゼロソング合唱（嬉野コールジョイ）

パネルディスカッション

コーディネーター

広瀬 幸雄氏（名古屋大学大学院 教授）

パネリスト

高屋 充子氏（特定非営利活動法人

NPOとばりサイクルネットワーク 副理事長）

野呂 昌彦氏（井村屋グループ株式会社内部統制室 室長）

橋村 弘生氏（津市立豊が丘小学校 教頭）

ごみ減量・環境活動に関する取組の展示

嬉野アイリス

三重・おもちゃの病院連絡会

きれいな伊勢志摩づくり連絡会議

特定非営利活動法人三重スローライフ協会

特定非営利活動法人NPOとばりサイクルネットワーク

特定非営利活動法人生ごみリサイクル思考の会

井村屋グループ株式会社

マックスバリュ中部株式会社

津市立櫛形小学校

津市立豊が丘小学校

津市立成美小学校

三重大学環境ISO学生委員会

四日市大学エネルギー環境教育研究会

三重県地球温暖化防止活動推進センター

「美し国おこし・三重」推進室

ごみゼロ推進室



環境講談



パネルディスカッション



ごみゼロソング合唱



展示の様子



・ごみゼロプラン改定に関連した意見

【パネルディスカッション】

他市町のごみ処理に関する処理状況等の情報を、県民が共有できるように、もっと情報を発信してほしい。

（基本取組 8-4 情報伝達手段の充実及び啓発・PR の強化）

食品リサイクルの取組等について、事業者間で取組内容に差があるので、取組を進めるように啓発指導をしてほしい。

（基本取組 2-3 事業系ごみの再利用の促進）

例えば、生ごみの堆肥化等の様に、ごみを資源として活用するビジネスモデルを展開してほしい。

（基本取組 5-1 生ごみの堆肥化・飼料化）

子どもたちに、これからも、ものを大切にする教育や自然の恵みに感謝する気持ちを教えていく必要がある。

（基本取組 9-1 環境学習・環境教育の充実）

行政は「もったいない」という言葉を忘れずに取り組んでもらいたい。また、県民のみなさんも日頃の生活の中で「もったいない」という言葉を思い浮かべるようにしてほしい。

（基本取組 8-5 もったいない普及啓発運動の展開）

【アンケート】

県から企業に働きかけて、ごみ・パッケージを削減するようにできないか。

（基本取組 2-2 事業系ごみの発生・排出抑制）

団体が缶等を回収する際に助成を考えてもらえないか。

（基本取組 7-3 地域密着型資源物回収システムの構築）

小さい年代から身の回りの食材に関心を持たせて、そこから「もったいない」発想につなげていくことは大変大切だと感じました。

（基本取組 9-1 環境学習・環境教育の充実、基本取組 8-5 もったいない普及啓発運動の展開）